

事務事業分析シート（令和3年度）										No1
事務事業コード		10-04-01			戦略プラン		☒ 協働 ☐ 業務 ☐ 財務 ☐ 人事			
事務事業名		荒川遊園管理運営費			部課名		子ども家庭部荒川遊園課		課長名	
					担当者名		岩瀬		内線	
									473	
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（3年度）		01-01-01		荒川遊園管理費						
		01-02-01		荒川遊園事業費						
		01-03-01		荒川遊園宮繕費						
事務事業の種類		☐ 新規事業（ ☐ 3年度 ☐ 2年度）				☐ 建設事業 ☒ それ以外の継続事業				
開始年度		昭和 25（ 1950 ）年度			根拠		都市公園法			
終期設定		☐ 有 ☒ 無（ ）年度			法令等		荒川区立公園条例及び同条例施行規則			
実施基準		☐ 法令基準内 ☐ 都基準内 ☒ 区独自基準		計画区分		☐ 計画 ☒ 非計画				
行政評価事業体系		分野		Ⅱ		子育て教育都市				
		政策		03		子育てしやすいまちの形成				
		施策		01		多様な子育て支援の展開				
目的		都内唯一の区立遊園地として、区内外の人々が楽しく利用できる施設を目指した管理・運営を行うとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。								
対象者等		小さなお子様のいるファミリー層を中心に、その他不特定多数の区内外からの来園者								
内容		【荒川遊園の概要】 総面積54,319㎡ A地区…31,466㎡（有料地区）、B地区…5,234㎡（子どもプール）、C地区…14,141㎡（地下駐車場）、D地区…3,479㎡（荒川遊園拡張地） 【事業の内容】 ①遊園地の管理運営（令和4年春まで休園中） 大型遊戯施設、小型遊具、エア遊具、釣堀、動物広場、下町都電ミニ資料館、売店、水あそび広場、アリスの広場 ②子どもプールの管理運営及びプール休止期間における施設の有効活用 ③都市公園の維持管理等 ④子育て支援施設 授乳室、おむつ交換所								
経過		平成元年4月 遊園の管理運営業務をACCに業務委託 平成 3年4月 全面リニューアルオープン 平成18年4月 ACCを荒川遊園の指定管理者として指定。 平成20年2月 ふあふあ事故発生 平成20年5月 あらかわ遊園見守り隊発足 平成21年9月～平成22年3月 大型遊戯施設安全総点検及び補修工事の実施 平成23年3月11日、東日本大震災発生。すべての遊具を運行休止、自動販売機の販売中止 平成23年4月 指定管理者制度を廃止、子育て支援部荒川遊園課による管理運営開始 平成23年9月21日～ 大型遊具全機種について通常運行再開 平成29年4月～ 荒川遊園改修基本計画・基本設計 平成30年12月～ リニューアル工事着手のため一時休園								
必要性		荒川遊園は、区の貴重な観光資源の一つであり、その特色を生かし、安全で安心して楽しく利用できる施設を目指すとともに、子育て支援施設の拠点として活用していく。								
実施方法		（ 2一部署託 ） （ 直営の場合 ☐ 常勤職員 ☐ 会計年度任用職員 ） 委託業務：遊戯施設運転・保守、入園案内、動物飼育、釣堀運営、地下駐車場管理運営、清掃、浄化施設運転管理、子どもプール運営、キャラクターショー								
指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明			
		30年度	元年度	2年度	3年度見込み	目標値(8年度)				
	① 入園者数（人）	313,266	0	0	0	500,000	年間入園者総数（30年12月から休園中）			
	② 遊戯施設利用者数（人）	1,058,242	7,623	0	0	1,800,000	大型・小型、ふあふあ利用者（元年度はミニ乗り物広場のみ）			
③										
事務事業の分類		分類についての説明・意見等								
3年度		4年度								
重点的に推進		重点的に推進		荒川区の最大の観光資源であり、子育て支援施設の拠点である荒川遊園の改修は極めて重要である。						

(単位：千円)

備考	その他行政費用は、平成31年度は建築物の撤去工事等、令和2年度は地中障害物撤去工事等に要した費用である。行政収入の使用料及び手数料の減少は新型コロナウイルスの影響により夏季の子どもプールやミニのりもの広場の営業を中止したためである。
問題点・課題	① 新機種の大型遊戯施設導入、夜間イルミネーションの導入など、ワクワク感を高める内容を設計に反映し、各種リニューアル工事を進めていくと同時に改修期間中においても園のPRを継続していく。 ② 新型コロナウイルス感染拡大状況等の社会情勢を鑑みた上で、来園者側・運営側の両側面におけるリニューアル後の適切な運営方法を検討していく必要がある。 ③ 巡回等による自主点検や法定点検、速やかな修繕を実施する他、荒川遊園見守り隊との連携により施設の安全性を高めていく必要がある。

	令和2年度に取り組む 具体的な改善内容	令和2年度に実施した 改善内容および評価	令和3年度以降に取り組む 具体的な改善内容
①	引き続きアリスの広場やプール等の 日常点検を行い、安全な利用環境を 維持する。	日常点検等で発見した施設や路面等 の破損は、速やかに修繕し、利用者 や歩行人の安全な利用環境を維持で きている。	引き続きアリスの広場やプール等 の日常点検を行い、安全な利用環 境を維持する。
②	感染症予防の対策を講じた上で、ミ ニ乗り物広場などの運営を行い、荒 川遊園の魅力を発信していく。	新型コロナウイルスの影響により、 イベントは全て中止となったが、観 覧車のライトアップを開始し、存在 感をPRしている。	観覧車のライトアップを継続して 実施していくとともに、リニュー アルオープンを見据えたPRを充 実していく。
③	工事所管課や施工業者との連携を密 にとり、令和4年春のリニューアル オープンを目指す。	工事所管課や施工業者との連携を密 にとり、荒川遊園改修工事を進めて いく。	工事所管課や施工業者との連携を 密にとり、令和4年春のリニュー アルオープンを目指す。

他 施 区 の 実 況	(実施 0 区 未実施 22 区 不明 0 区)
2 3 区唯一の区立遊園地	
議 会 質 問 状 況 (要 旨)	【平成28年度2月会議】①改修期間中は全面休園か、一部休園かについて精査を、②一球さん号、スワンの池、クラフトハウスの有効活用を、③植栽、花のコンテナの全面的な見直しを、④イルミネーションをするべき、⑤夜間営業に向けた営業時間の見直しを、⑥リニューアルに合わせて入園料の改定を、⑦来園者を遊園周辺へ回遊させるべき、⑧旧小台橋小跡地の遊園拡張地を子育て支援の森に